



国立大学法人

名古屋工業大学

大学概要

2025年8月

名古屋工業大学概要

全体紹介

職員数&採用実績&離職率

名工大の特色(産学連携データ、進路データ等)

事務組織

採用後のキャリアアップについて

勤務条件・休暇等について

福利厚生等について

採用フローについて

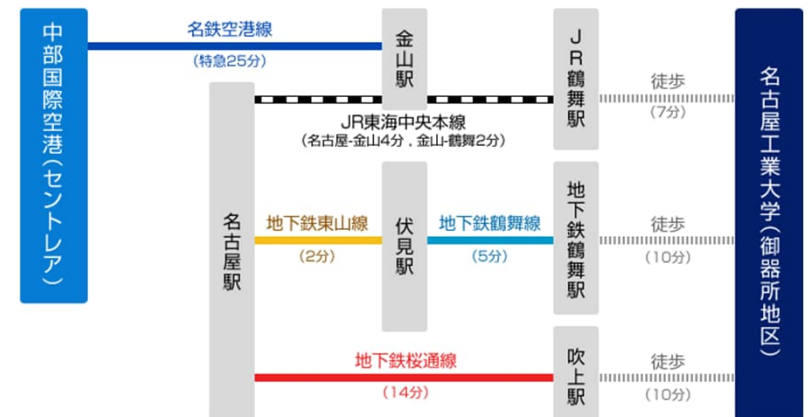
全体紹介

- ・ **工学系の単科大学**
- ・ **教育・研究の理念**
ものづくり、ひとづくり、未来づくり
- ・ **中期目標(2022年度～2027年度)のビジョン**
「心で工学」「中京地域産業界との共創」
- ・ **事務・技術組織**
重点的に取り組む業務に対し、チームを編成するなど、柔軟に対応できる体制を整備
- ・ **2025年に創立120周年を迎えました**

所在地



- 大学の隣には緑豊かな鶴舞公園
- 鶴舞中央図書館
- 交通の便がよく、栄や金山、名駅方面へ出かけるにも便利。
- 徒歩7分の場所に大型ショッピングセンターもあります。



職員数&採用実績&離職率

職員数

2025. 5. 1現在

- ・ 法人の役員数 6名
 - 学 長 1 名
 - 理 事 3 名
 - 監 事 2 名
- ・ 法人の常勤職員数 519名
 - 教 員 328名
 - 事務職員 151名
 - (男性 76名、女性 75名)
 - 技術職員 38名
 - (男性 27名、女性 11名)
 - 医療職員 2名
 - (男性 0名、女性2名)

採用実績

2025.6.1現在

事務職員

年度	男	女	計
2025年度	2	4	6
2024年度	2	5	7

技術職員

年度	男	女	計
2025年度	2	1	3
2024年度	0	0	0

離職者

直近5年の採用者 34名
離職 3名(8.8%)

独自採用試験の開始後(2023年度～)は離職者0名

名工大の特色

名工大の強み：産学官連携

名古屋工業大学と産業界との研究協力

名古屋工業大学 学術研究の推進

- 学問の発展
- 自由な発想による独創的研究
- 人材の養成と研究の一体的推進

産業界 応用技術の開発

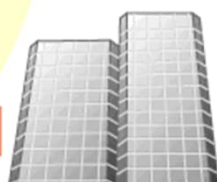
- 国民経済への寄与・産業開発
- 目的思考の計画的な研究開発
- 最新先端技術の国際開発競争

産学協力

- 共同研究
- 受託研究
- 受託研究員
- 奨学寄附金
- 寄附講座・研究部門
- 技術相談・技術研修
- プロジェクト研究所



名古屋工業大学



学外機関等

名工大
+
中京地域産業界

ものづくり産業の
世界拠点へ

産学連携データ

産学連携

共同研究

326件 | 約**9.3**億円
[2023 年度実績]

受託研究

126件 | 約**13**億円
[2023 年度実績]

愛知県内企業等との 共同・受託研究件数の割合

約**29**% | **129**[※]件
[2022 年度実績]

大学発ベンチャー

45社 [2024 年 5 月 1 日現在]

◇ 研究者 1 人当たりの研究費受入額

(民間企業との共同研究に伴う) ※

2,047 (千円)

全国 **4**位

◇ 地域社会との産学連携関係

(同一県内企業及び地方公共団体との
共同・受託研究実施件数(地方別)) ※

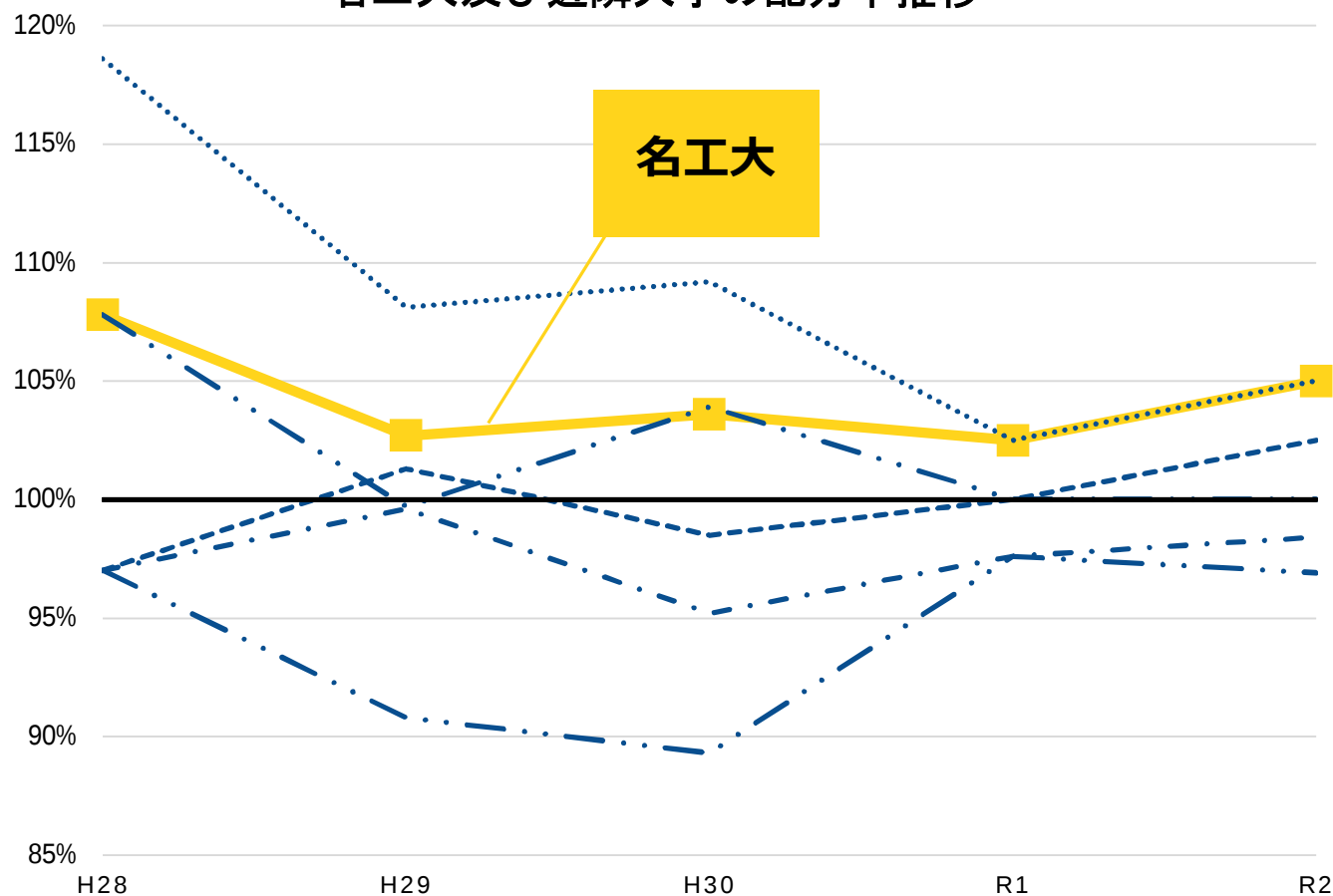
129 件

東海地区 **2**位

※ 全国の大学等対象1,076機関における2022年度実績の順位。文部科学省「令和4年度 大学等における産学連携等実施状況について」2024年(令和6年)2月22日公表

第3期中期目標(2016年～2021年)における 運営費交付金の配分指標評価結果(抜粋)

名工大及び近隣大学の配分率推移



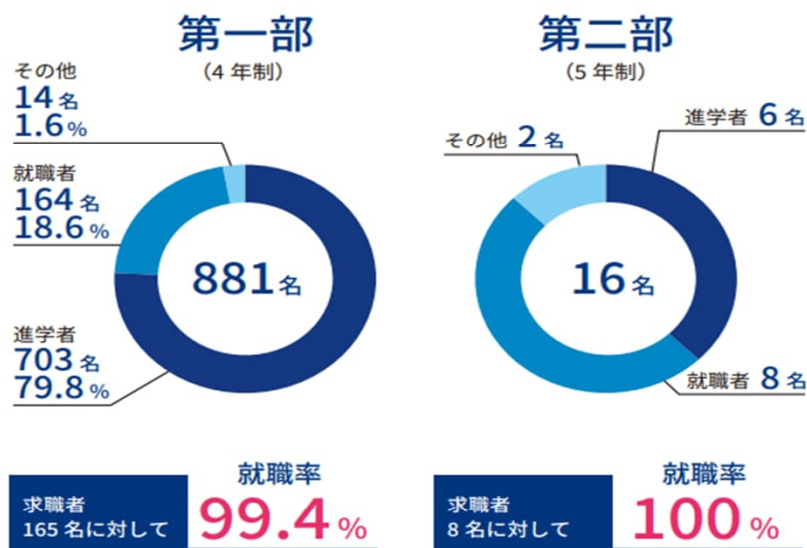
名工大は
常に100%超

進学・就職データ

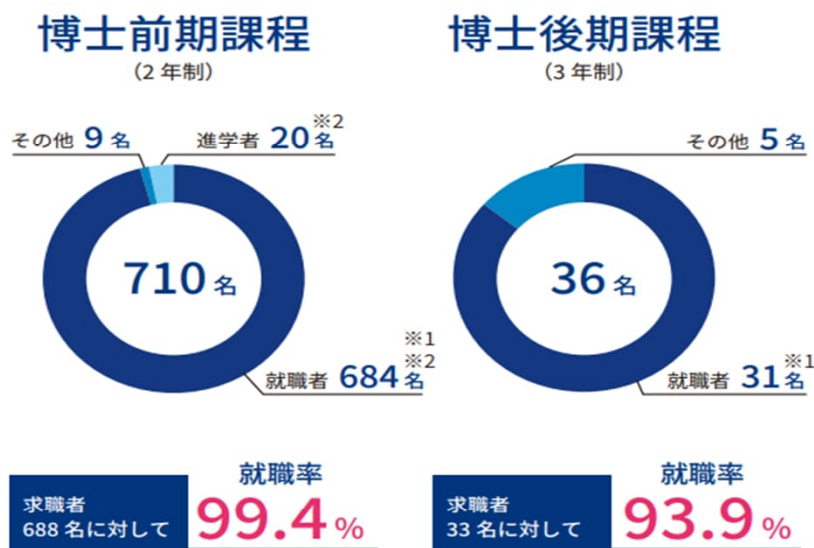
進学・就職

2023年度卒業・修了者

工学部



大学院工学研究科



※1 現職者29名(博士前期課程14名、博士後期課程15名)を含む

※2 就職進学者(博士前期課程3名)を含む

学部一部 約**80%**が進学

2024 年実就職率ランキング
(卒業生 1,000 人以上の大学)

国立大学
ランキング **2**位

(大学通信調べ)

社会が求め、信頼する技術者・研究者の育成

学部 (工学部)	大学院 (工学研究科)	
高度工学教育課程 〈 中核的技術者・研究人材の育成 〉 生命・応用化学科 物理工学科 電気・機械工学科 情報工学科 社会工学科	博士前期 工学専攻 〈 新たな価値を創造して協奏的に社会を変革する人材の育成 〉 (生命・応用化学系プログラム) (物理工学系プログラム) (電気・機械工学系プログラム) (情報工学系プログラム) (社会工学系プログラム) (社会人イノベーションコース)	博士後期 工学専攻 
創造工学教育課程 6年一貫教育 〈 多面的視野を持つ開発人材の育成 〉	(創造工学プログラム)	
基幹工学教育課程 夜間主 電気・機械工学コース／環境都市工学コース 〈 基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成 〉	共同ナノメディシン科学専攻 国際連携情報学専攻 国際連携エネルギー変換システム専攻 (2024年4月開設)	

事務組織

事務局 長

事務局次長
(事業担当)

 学 務 課

 学生生活課

 入 試 課

 研究支援課

 学術情報課

 国際交流課

事務局次長
(管理担当)

 総 務 課

 企画広報課

 人 事 課

 財 務 課

 経 理 課

 施設企画課

 安全管理室

 業務変革推進室

 監 査 室

 卒業生連携室



学務課

学生の履修計画から成績管理まで授業全般に係る業務、学習相談、生涯学習などの業務を行っています。

学生と直に接し、学生の生の声を聞きながら、仕事をしています。



学生生活課

奨学金、授業料免除、キャリア、就職支援、課外活動、学生相談、保健の生活支援などに関する業務を行っています。

直接学生と向き合いながら、学生生活が充実し、安全に過ごすことができるよう幅広くサポートし学生の成長を支える仕事です。



入試課

入試に関する業務、オープンキャンパス等を行っています。

名工大へ進学を目指す人に大学の魅力を伝え、多くの志願者、優秀な学生を確保するための業務を行います。

研究支援課

教員が行う研究活動において、科学研究費助成事業、共同研究、受託研究などの研究費の受入や獲得支援業務を担当しています。自治体との地域連携など産学官連携にかかわる仕事を担当しています。

学術研究において、産学官と教員の橋渡し役として、研究費受入の支援等を行い、学術研究活動の一端を支えています。

学術情報課

図書館業務として学術資料の収集・管理・提供及び学内外への情報発信により、教育・研究を支援する仕事を担当しています。

名工大の学術情報に関する中心機関として教育・研究及び総合的教養の向上を支えています。

国際交流課

海外の大学や高等教育機関等との学術交流協定の締結、海外における本学の活動拠点となる海外事務所設置や外国人研究者の受入れ等に関する事務支援を行っています。また、留学生の受入、日本人学生の海外派遣などの国際交流に関する仕事も担当しています。

グローバル化した世界の中で、海外との学術交流や学生交流等を通じて、名工大の国際化を推進する仕事です。



総務課

大学の事務に関し、総括・連絡調整を行っています。教授会等の会議の運営、役員秘書業務などの仕事を担当しています。



大学の総合窓口です。学外との連絡もここで行います。



企画広報課

学科、専攻の設置など大学の将来構想の事務、6年間の大学の目標・計画を策定する中期目標・中期計画、大学の評価、大学の広報を担当しています。



大学がさらに発展するように将来構想、評価、活動を広く社会に知らせるなどの仕事をしています。



人事課

教職員の採用や人事異動、給料、ボーナス、研修、福利厚生、共済（健康保険や年金）などの仕事を担当しています。



大学を支える職員が、働き甲斐を感じて生き生きと仕事をできるように、勤務環境を整える仕事をしています。



財務課

大学の財政面に関する業務を担当していて、文部科学省への概算要求、学内への予算配分・管理、資金管理・運用、決算報告、資産管理、出納などの仕事を担当しています。

大学の財政を担い、財務諸表の公表などで社会への説明責任を果たしています。



経理課

教職員の旅費等の計算、物品の購入契約や構内清掃などの請負契約など様々な会計事務の仕事を担当しています。

会計事務を適正・円滑に執行するため、若い人のアイデアを積極的に取り入れて、仕事をしています。



施設企画課

どんな建物や整備が必要かという調査を行い、長期的視野に立ったキャンパスマスタープランを作ります。それを基に文科省へ概算要求を行い、設計・積算・入札・契約・施工へと進めて行きます。

学内インフラの維持管理・耐震対策・省エネ対策にも取り組んでいるのが施設企画課の仕事です。

安全管理室

安全管理、衛生管理、環境対策及び危機管理に関する業務を行っています。

安全で安心な労働環境及びキャンパス構築を目指しています。
巨大地震に備え、防災対策の企画立案及び指導を行っています。

業務変革推進室

情報戦略の策定、DXの推進及び事務情報化、情報セキュリティ、事務局の管理するシステムのサポート等を行っています。

業務変革推進室は、e-キャンパスを支える情報のヘルプデスクです。

監査室

他の部局から独立した学長直轄の組織で、本学の業務及び会計の監査を行っています。

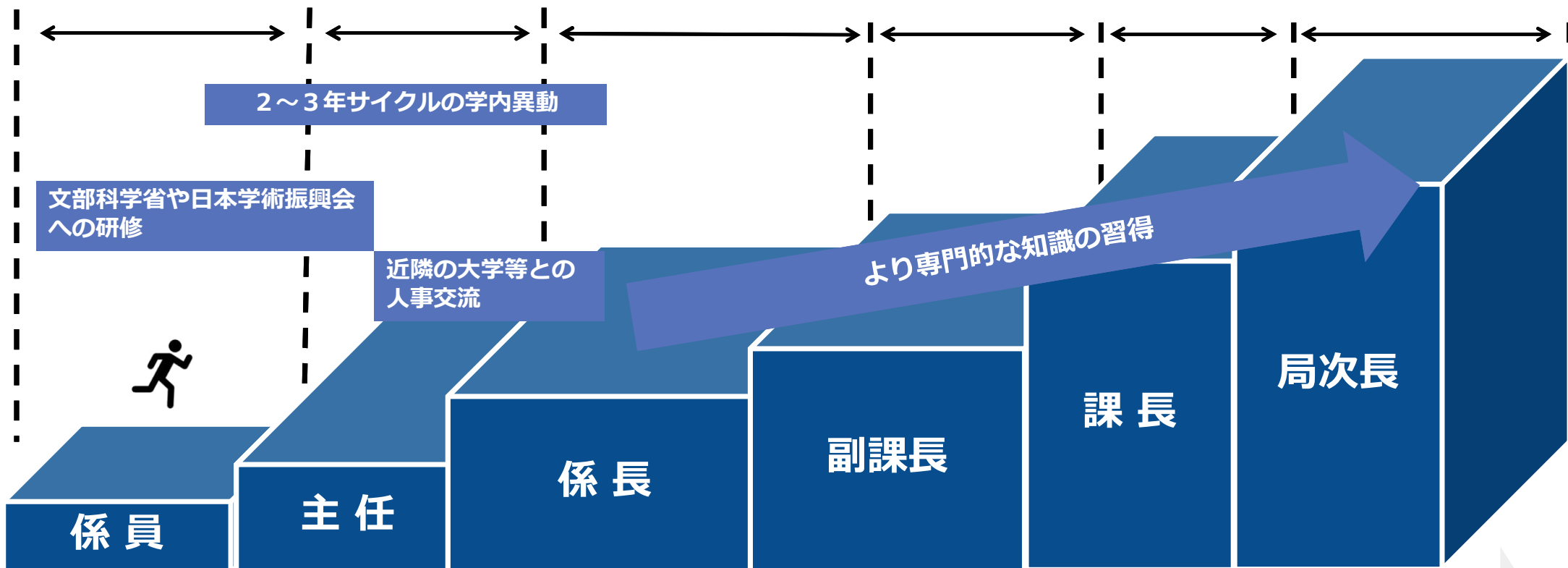
大学の業務において、①ルールが遵守されているか、②内部統制が有効に機能しているか、③ルールが実態と乖離していないか、等を確認しています。

卒業生連携室

同窓会組織である一般社団法人名古屋工業会や学科同窓会、そして保護者会との連携により、卒業生と本学の交流を深める事業や卒業生名簿の管理等を行っています。

卒業生と本学との間でつながりを形成することにより、本学の活性化や発展を支えていく仕事です。

採用後のキャリアアップについて



◎ 経験年数に応じた研修を用意 新任一般職員研修（接遇マナー研修など）、東海地区中堅職員研修など

その他にも英語研修、海外研修や資格取得（ITパスポート、衛生管理者（1・2種））など、積極的にサポートを行っています。

勤務条件・休暇等について

・勤務時間・給与・手当

勤務時間：8：30～17：15（休憩12：00～13：00）の7時間45分

初任給：232,000円程度（学歴，職歴によって決定） + 地域手当（基本給の12%）

➡ 259,840円程度

各種手当：通勤手当，住居手当（上限28,000円），扶養手当，期末・勤勉手当（ボーナス），退職手当，etc

・休日・休暇

休日：土・日・祝日 及び 年末年始（12／29～1／3）

年次有給休暇：1年間に20日
（入職月により変動あり）
20日を上限に翌年に繰り越し可能

特別休暇：夏季休暇（7月から9月末までの間に希望する3日間）
結婚休暇（5日間）
リフレッシュ休暇（基本3日間，勤続10・20・30年目は+α） etc

夏季一斉閉庁：8月11日の前2日間と翌3日間（休日を除く）

夏季一斉閉庁（お盆の時期）の休みは
年次有給休暇や夏季休暇とは別に付与されます！
2025年度は8/7～8/14の8日間♪

2025年度の年間休日
（全員対象の特別休暇・
夏季一斉閉庁含む）は
134日！

勤務条件・休暇等について

・育児・介護に関する制度

産前産後休暇 : 通常産前 6 週間, 産後 8 週間

育児休業 : 男女問わず, 子供が 3 歳になるまで取得可能

育児部分休業 : 男女問わず, 子供が **中学校** に就学するまで, その養育のために 1 日の勤務時間の一部を勤務しないことが可能

育児短時間勤務 : 男女問わず, 子供が小学校に就学するまで, その養育のために 1 日の勤務時間を短くすることや休日を増やすことが可能

介護休業等 : 配偶者や父母等または子など長期の介護を必要とするときに, 最大 1 8 6 日まで取得することが可能

早出遅出勤務 : 始業時刻、終業時刻、休憩時間を定められた範囲内でずらすことが可能

在宅勤務 : コロナ禍の例外対応のみならず、実施合理性があり業務に支障がない場合、月に 10 日まで実施が可能

福利厚生等について

・ 共済組合

文部科学省共済組合に加入。

厚生年金，保険給付，積立貯金 etc

国家公務員共済組合連合会の全国の保養所利用

ベネフィットステーション（映画チケット割引、ホテル宿泊割引、フリーeラーニング etc）

・ 学内施設等

職員宿舎 : 名古屋市内に1ヶ所（緑区），春日井市内に1ヶ所

保健センター : 内科，メンタルヘルス診療，相談，救急処置 etc

図書館 : 夜間（21：45まで），土日祝も利用可能

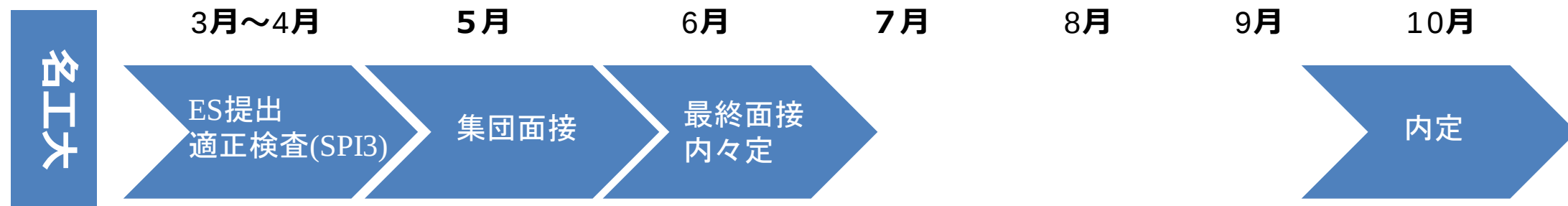
食堂・購買 : 生協食堂，ベーカリー，生協購買，ミニコンビニ，カフェサラ，理髪店

運動施設 : 大学内運動施設の利用可能

体育館（トレーニングルーム有），テニスコート，
運動場（サッカー，野球），プール etc

採用フローについて

本学は**独自採用試験**を実施 = 民間企業と同じ形式での採用フロー



他の多くの国立大学法人等は国立大学法人等職員採用試験を実施
= 公務員試験のフローと類似

